くらしき マメ得知識

## 日本一怖いアトラクション!?

倉敷市下津井にあるテーマパーク「鷲羽山ハイランド」の「スカイサイクル」は、絶叫系の乗り物ではないにも関わらず、日本で一番怖いアトラクションだといわれています。

その名の通り、空中のレールを2人でペダルを漕いで進んでいく乗り物なのですが、地上からの高さ、瀬戸内海が望める見晴らしの良さ、乗り物の素朴さが相まって、SNS等の口コミで「本当に怖い」と評判になり、マスメディアにも取り上げられました。

絶叫系よりもっと怖い体験をしてみたいあなた…ぜひ一度乗ってみてください!

鷲羽山ハイランド
岡山県倉敷市下津井吹上 303 - 1
☎086 - 473 - 5111

クラシキ文華新聞 Vol.1
平成27年9月吉日発行
【編集・発行】
クラシキ文華新聞編集部
(倉敷市くらしき情報発信課内)
〒710-8565
岡山県倉敷市西中新田640
TEL086-426-3061
FAX086-426-4095
pubinfo@city.kurashiki.okayama.jp

WEBもチェック!
クラシキ文華
http://citysales.city.kurashiki.okayama.jp/
クラシキ文華 検索

倉敷市公式 Facebook
https://www.facebook.com/KurashikiCity

### 編集後記

最後まで読んでいただき、ありがとうございました。倉敷人たちの、まちへの誇り、そしてまちをより良くしていきたいという情熱とパワーを、そのままに感じていただけるような紙面を作っていきたいと思っています。次号以降も、どうぞよろしくお願いします!(安藤・村上)



倉敷の「今」を伝えるニュースレター
2015年9月吉日発行

# クラシキ文華新聞

Vol. 1 創刊号

## 創刊のご挨拶

岡山県南部に位置する、倉敷市―。白壁のまちとして知られる倉敷美観地区は、多くの観光客を魅了しています。しかし、このまちにあるのは、歴史や伝統だけではありません。日本初の私立西洋美術館である「大原美術館」、繊維産業を進化させ続けてきた「国産ジーンズ発祥の地・児島」など、歴史と伝統が常にアップデートされ、新しい文化が生み出されています。そんな、倉敷で華開く新しい文化「クラシキ文華」の魅力をたっぷりとお伝えするため、この度、『クラシキ文華新聞』を創刊する運びとなりました。

どうぞ、ご贔屓に

## 1 特集 白壁のまちの新たなランドマークが提案する、倉敷に変わらず息づく“暮らしの豊かさ”

江戸時代、幕府直轄の「天領」として栄えた倉敷美観地区。その本町通りに残る昭和初期の木造3階建ての建物などを改修・整備した、「林源十郎商店 倉敷生活デザインマーケット」は、カフェや雑貨店、デニムショップなど個性豊かな8店舗が入る複合施設で、新たな観光スポットにもなっています。

林源十郎商店の難波美智子さんが、店で扱う、質の高い良品を通して提案するのは、倉敷に変わらず息づく“暮らしの豊かさ”。「倉敷の古い町並みが今も残るのは、時代が変わっても暮らしの豊かさへの価値観が変わらなかったから。人々は、代々伝わる家や家具、道具をなおしながら、大切に使い続けてきました」と話します。

また、難波さんたちは、倉敷の特産品や地元企業の商品を、作り手たちと一緒に新たな品へと生まれ変わらせています。県下で唯一、昔ながらの製法で手作りする飴、1785年創業の酒蔵が伝統の技で素材を生かす米麹100%の甘酒、「備中和紙」と祝儀店の水引がコラボした祝儀袋などなど。「倉敷には、確かな技と質の高い素材に裏打ちされた良い品がたくさんありますが、今は良い品というだけでは生き残れない時代。でも、パッケージを新しくデザインすることで、手に取る人が増えるんです」と難波さん。それらには、「懐かしくて新しい品として注目されることで、伝統や技を継承する人を増やしていきたい」という願いもこめられています。

難波美智子さん

林源十郎商店
倉敷生活デザインマーケット
岡山県倉敷市阿知2-23-10
☎086 - 423 - 6010
(株式会社暮らしき編集部)

▲リデザインした商品の数々。老舗の造り酒屋「十八盛酒造」とコラボした、米麹100%の甘酒は、ノンアルコールで、甘酒への先入観を覆す、すっきりとした味わい!

## 特集2 歴史情緒あふれる港町・下津井の町角に誕生した、現代アートの小さな私設美術館

江戸時代、琴平参詣船の発着港や北前船の寄港地として繁栄していた下津井港。周辺には、漆喰壁やなまこ壁の商家やニシン蔵が今なお残り、往時の面影が色濃く残っています。そんな港町の一角に2015年4月、現代アートを発信する小さな私設美術館「吹上美術館」が誕生しました。開館に尽力してきたひとりが、美術作家の片山康之さんです。片山さんは、活動を続ける中で、同世代のアーティストたちと交流する楽しさと面白さを知り、「作家として人とつながる」ための活動をスタートさせました。2013年にはアートイベントを企画する作家集団「クリエイターズラウンジ」を結成。そして翌年、常設のスタジオ兼イベント会場を探し始めたことが、吹上美術館開館へとつながります。

「クリエイターズラウンジ」が目指しているのは、芸術を中心とした様々な活動を通じて、人々がコミュニケーションする「場」を生み出すこと。その中心となる片山さん、建築家の山口晋作さん、陶芸家の尾鷲高明さんは、きれいな木造建築の建物を初めて目にした時、こう思いました。「作家だけが利用するスタジオには大きすぎるし、もともと美術館だったこの建物で活動するとしたら、僕らだけの問題ではない」。

片山康之さん

3人は、地域の意向を知るために近隣の人たちを招いて話し合いを重ねました。瀬戸内国際芸術祭を身近に見てきて、アートが持つ、人を集める力を知っている人たちは、この建物が美術館として復活することを望んでいました。やがて片山さんたちは、「下津井の文化と、観光の活性化」の一助となるべく、旧美術館を再起動させ、地域の人々と一緒に運営していくことを決意したのです。

吹上美術館には館長も学芸員も在籍しません。「この地でアートがどんな役割を果たせるのか、美術館をコミュニケーションの場にするにはどうしたらいいのか」。自らに問いながら方向性を探るアーティストと、児島や下津井に住む人たちが一緒になって、展示やイベントを企画・開催しています。

①②吹上美術館
③左から、尾鷲高明さん、片山康之さん、山口晋作さん
④地元団体と協力して行ったイベントで設置したテント

**吹上美術館**（ふきあげ）

岡山県倉敷市
下津井吹上1-3-9
☎050-6865-2539

### 吹上美術館のある町 下津井のタコのある風景

漁船が所狭しと並ぶ漁港や、軒を連ねるなまこ壁の町家―。瀬戸大橋を仰ぎ、昔ながらの港町の風情が残る、倉敷市下津井。その街道沿いは、県下有数の町並み保存地区としても知られています。江戸時代中期以降には北前船の停泊する港町として栄えました。大正以降は、鉄道や汽船など交通の発展にともない、港町から漁港としての性格を強めていき、現在では瀬戸内海有数の漁港でもあります。

そして下津井といえば、特産のタコ！下津井沖の速い潮流に育まれたタコは、引き締まった身とぷりぷりとした食感から全国的に有名です。11月になるとタコ漁の最盛期を迎えますが、特に秋から冬にかけては「寒タコ」と呼ばれ、一年の内でもっとも身が締まり、うまみも凝縮。また、この時期に漁港周辺では、穏やかな潮風に揺れる「干しダコ」のユニークな風景が見られ、下津井の冬の風物詩となっています。

## クラシキニュース

### 伊勢志摩サミット G7 教育大臣会合が倉敷で開催されます！

倉敷市は、今、まちの魅力を世界に向けて発信する、大きなチャンスを迎えています。来年の伊勢志摩サミットに合わせて、G7教育大臣会合が、倉敷市で開催されることが決定しました。

G7各国から来倉される皆さまに、江戸時代から受け継いできた美しい町並み、教育・文化を核としたまちづくりや、教育の現場などもご覧になっていただけるよう、万全の体制でお迎えしたいと思います。

□**日程**…平成28年5月14日㈯・15日㈰
□**会場**…倉敷美観地区周辺

### 倉敷の魅力を発信するフリーマガジン『クラシキ文華』を創刊！

9月25日に、フリーマガジン『クラシキ文華』を創刊しました。今回の『クラシキ文華新聞』にも掲載した特集記事のほか、倉敷のごはん、モノづくりの現場、市内在住者による座談会など、倉敷らしい活動や暮らし、それを支える人の想いがギュギュっと詰まった記事が盛りだくさんです！

ご覧になりたい方は、クラシキ文華新聞編集部までお気軽にご連絡ください。

問クラシキ文華新聞編集部（倉敷市くらしき情報発信課内）
☎086-426-3061、FAX086-426-4095
Eメール pubinfo@city.kurashiki.okayama.jp

## クラシキイベント

### 秋のせんい児島瀬戸大橋まつり

▲地元ジーンズメーカーのショップが軒を連ねる「児島ジーンズストリート」には、全国からジーンズファンが訪れます。

岡山県南部では、江戸時代初期から干拓による新田開発が盛んに行われ、塩分を多く含んだ新田は綿の栽培にも適していました。この豊富な綿を原料に、児島地区では、真田紐、足袋、畳縁（たたみべり）、学生服、作業服、帆布、ジーンズなどの繊維産業が、時代とともに発展。「国産ジーンズ発祥の地」としても知られ、その品質の高さは世界から熱い視線を集めています。

秋のせんい児島瀬戸大橋まつりでは、そんな「繊維のまち・児島」ならではの質の高い繊維製品を格安で買える「即売大テント村」や、ご当地グルメが楽しめる「飲み食い横丁」がオープン。倉敷市最大級の動員数を誇るビッグイベントです！

□**日時**…10月17日㈯・18日㈰ 9時～17時
□**場所**…児島ボートレース駐車場

◀即売大テント村

### 巡（めぐる）・金田一耕助（きんだいちこうすけ）の小径（こみち）

▲金田一耕助の生家ともいえる横溝正史疎開宅

倉敷市真備地区は、日本を代表する名探偵・金田一耕助誕生の地です。本格ミステリー作家・横溝正史は真備地区での疎開中に「本陣殺人事件」をはじめとした金田一耕助シリーズを執筆し、発表しました。「本陣殺人事件」には、横溝正史疎開宅周辺の実在地が、数多く登場します。また、真備地区を中心とした備中エリアは、小説の舞台、映画やドラマのロケ地として多くの場所が関わる、正史作品の聖地です。

「巡・金田一耕助の小径」は、名探偵のふるさとで、その世界を満喫できるイベント。金田一耕助のコスプレをして「本陣殺人事件」の舞台を歩く「1000人の金田一耕助」や、横溝作品や金田一耕助などに関する論文を学会形式で発表する「巡・金田一耕助の小径」学会など盛りだくさん。これはもう、事件です！

▲コスプレイベント「1000人の金田一耕助」

◆**1000人の金田一耕助**　□**日にち**…11月21日㈯
◆**「巡・金田一耕助の小径」学会**　□**日にち**…11月22日㈰

| イベント | 日程 | 場所 | 内容 |
|---|---|---|---|
| 倉敷屏風祭 | 10月17日㈯・18日㈰ | 倉敷美観地区周辺 | 町家約30軒で屏風や家宝などが飾られる「わが家のおひろめ祭」 |
| 備中no町家deクラス | 10月23日㈮～11月3日㈷ | 備中地域5市2町の町家26軒 | 地域の伝統的な生活文化の魅力を体感できる、38の多彩なプログラム |
| 倉敷ジャズストリート | 11月7日㈯・8日㈰ | 倉敷美観地区周辺 | ジャズの生演奏、誰でも参加できるジャムセッションなど。美観地区がジャズに染まる2日間 |

イベント情報は、倉敷市公式Facebook（https://www.facebook.com/KurashikiCity）でも紹介しています！